



Data 2023-8

監督：ジュゼッペ・トルナトーレ
出演：エンニオ・モリコーネ/クエンティン・タランティーノ/クリント・イーストウッド/ウォン・カーウアイ/オリバー・ストーン/ハンス・ジマー/ジョン・ウィリアムズ/ブルース・スプリングスティーン/クインシー・ジョーンズ

👁️👁️ みどころ

松山の愛光学園は、東大・京大への多数の合格者を誇る中高一貫の“ザ・名門校”。同校の第9期卒業生たる私が1964年に映画館で観たのが、セルジオ・レオーネ監督の『荒野の用心棒』。そこで、あの音楽、あのガン捌き、あの映画にゾッコン！それは一体なぜ？

クラシック音楽の素養を身につけたエンニオ・モリコーネにとって、映画音楽は邪道とは言えないまでも、所詮はワキ道！ところが、世界中で次々と彼の映画音楽が大ヒットしていくと・・・。

小学校時代の旧友だったセルジオ・レオーネ監督に続いて、30歳近く若いジュゼッペ・トルナトーレ監督が『ニュー・シネマ・パラダイス』（88年）以降は、全作品でタッグを組む盟友に。モリコーネは「ジュゼッペが撮るならやってもいいが、彼以外ならダメだ」と述べて、本作の監督を彼に委ねることに。

映画音楽は素晴らしい。あの名作、この名作の、あのシーン、このシーンが映画音楽と共に次々と！モリコーネの映画音楽の素晴らしさを、本作でたっぷり堪能しよう。

—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*

■高校時代、あの音楽あのガン捌き、あの映画にゾッコン■

日本の高度経済成長とテレビの普及が始まったのは、1959年4月の皇太子殿下と美智子様のご成婚と1964年10月の東京オリンピック開催を契機としたものだ。その当時、日本のTV上では「幌馬車隊」や「ボナンザ（カートライト兄弟）」等の人気西部劇が大人気だった。私は「隊長アダムスの指揮の下、時には憎しみまた愛し合い・・・」と歌う主題歌や、「ホールドアップ、ホールドアップ、ボナンザ・・・」と歌う主題歌を今でも

よく覚えている。他方、映画館では本場感タップリのさまざまな西部劇が次々と上映され、そこでは西部劇の男、ジョン・ウェインの圧倒的な存在感が際立っていた。

そんな時代状況の中で、1964年4月に高校1年生になった私が映画館で見たのが『荒野の用心棒』（64年）。当時、カレーライスやチャーハンは一般的になっていたが、フランス料理はもとより、マカロニやスパゲッティ等のイタリア料理はまだ珍しかった。そんな時代、いきなり“マカロニ・ウエスタン”が大ヒット！その要因は、それまでの本格的西部劇とは全く異質な、若き日のクリント・イーストウッド演じるニヒルかつ非情なガンマンを主人公にしたストーリー構成が第一だが、もう一つ大きな理由は、口笛を交えたあの音楽にある。そこで一躍有名になったのが、イタリア生まれの音楽家エンニオ・モリコーネだ。同作は彼が1929年生まれの小学校時代の旧友、セルジオ・レオーネ監督と再会したことによって誕生したが、以降モリコーネが作る映画音楽は大ヒット！しかし、本作を見れば、モリコーネが映画音楽だけでなく、クラシックの分野でもすごい音楽家だったことを、はじめて知ることになる。

■□■ジュゼッペが撮るならやってもいいが、彼以外ならダメ■□■

イタリア映画はフランス映画ともドイツ映画とも違う独特な雰囲気と面白さを持っている。その代表の1つがイタリアのシチリア生まれのジュゼッペ・トルナトーレ監督の『ニュー・シネマ・パラダイス』（88年）（『シネマ13』340頁）だ。

モリコーネは同作の映画音楽ではじめてジュゼッペ・トルナトーレ監督とタッグを組んだ。1928年生まれのリコーネと1956年生まれのリコーネ監督は30歳近く年が離れているのに、以降、ジュゼッペ監督作品の音楽はすべてモリコーネがタッグを組んでいるから、この2人はよほど気が合ったらしい。モリコーネが最も信頼する監督は小学校時代の旧友で、共に『荒野の用心棒』を世に送り出したセルジオ・レオーネ監督だが、それと並ぶ信頼を置いているのが、ジュゼッペ監督だ。

モリコーネのドキュメンタリー映画を作ろうと企画したのは若い2人のプロデューサーだが、モリコーネにその気があるかどうかを尋ねると、モリコーネは、「ジュゼッペが撮るならやってもいいが、彼以外ならダメだ」と答えたそうだ。そう聞いたジュゼッペ監督が本作の監督を快諾したのは当然。以降、本作のアイデアはトントン拍子で進んだらしい。そこで、最初にジュゼッペ監督がプロデューサーに頼んだのは、実際の映像を使うことだった。そのため、本作では、懐かしいあのシーン、このシーンが、モリコーネ音楽と共にふんだんに登場することに。

■□■主題曲、サントラ、テーマ、序曲あれこれ！主題歌も！■□■

私のiPodにダウンロードされている[資料①](#)の「淀川長治 映画音楽館」CD全10巻は、私が大腸ガンで入院した2015年9月と胃ガンで入院した2016年11月に大いに役立った。それは、入院期間中ずっとベッドで流し続けていたからだ。『エデンの東』から始まるそれは、今も私が眠る時に、中国語単語帳や中国語のNHKラジオ講座らと共に、い

つも iPod から流れている。

映画音楽には、①『エデンの東』(55年)や『太陽がいっぱい』(60年)、『ひまわり』(70年)等の主題曲、②『ウエスト・サイド物語』(61年)、『サウンド・オブ・ミュージック』(65年)等のサウンドトラック(サントラ)、③『風と共に去りぬ』(39年)の「タラのテーマ」や『ドクトル・ジバゴ』(65年)の「ララのテーマ」、『ロッキー』シリーズの「ロッキーのテーマ」等のテーマ曲、④『ベン・ハー』(59年)の「ベン・ハー序曲」等の序曲、そして『007/ゴールドフィンガー』(64年)、『007/ロシアより愛を込めて』(63年)等の主題曲等、さまざまなものがある。ちなみに『卒業』(67年)の「サウンド・オブ・サイレンス」や「ミセス・ロビンソン」、『明日に向かって撃て!』(64年)の「雨にぬれても」等は劇中の挿入歌だ。

「淀川長治 映画音楽館」はそれらを含めた合計187曲が収録されているから、その充実ぶりはすごい。そこには当然本作の「さすらいの口笛」や『死刑台のメロディ』(71年)でジョン・パエズが歌った「勝利への讃歌」等も収録されている。それらを聴いてみると、あの映画のあのシーン、このシーンと共にあの音楽、この音楽が。

資料①

淀川長治 映画音楽館 (1)

1. エデンの東(エデンの東).....	ビクター・ヤング・オーケストラ	3:16
2. カサブランカ(時の過ぎ行く姿).....	オリジナル・サウンドトラック(レニー・ウィーン)	2:58
3. 歌 愁(セパハン・ソング).....	オリジナル・サウンドトラック(ウォルター・ヘューストン)	2:27
4. ラムライト(テリーのテーマ).....	ビクター・ヤング・オーケストラ	2:56
5. 80日間世界一周(アサンド・ザ・ワールド).....	オリジナル・サウンドトラック(ビクター・ヤング・オーケストラ)	3:04
6. 誰がために鐘は鳴る(誰がために鐘は鳴る).....	ビクター・ヤング・オーケストラ	3:14
7. 霧 窓(霧窓のテーマ).....	ビクター・ヤング・オーケストラ	2:48
8. ビンネオ(望に願いを).....	オリジナル・サウンドトラック(クリフ・エドワーズ)	3:10
9. 愛情物語(トカラアザゲイン).....	オリジナル・サウンドトラック(クリフ・エドワーズ)	2:58
10. リリー(ハ・リリー、ハイ・ロー).....	ビクター・ヤング・オーケストラ	2:30
11. 嵐が丘(キャッパのテーマ).....	オリジナル・サウンドトラック	3:10
12. 我が運を往く(アムランドの子守歌).....	オリジナル・サウンドトラック(ヒツ・コロズビー)	3:12
13. スパインダ(エンターテイン).....	オリジナル・サウンドトラック	3:02
14. ハワード・ドール(ハワード・ドール).....	オリジナル・サウンドトラック	2:23
15. 地 権(オールド・ウェイ).....	カール・キルバド	3:56
16. 地上より永遠に(地上より永遠に).....	オリジナル・サウンドトラック	3:18
17. ある愛の詩(ある愛の詩).....	オリジナル・サウンドトラック	3:22
18. タミーと独身者(タミー).....	オリジナル・サウンドトラック(アール・サイデル)	2:54
19. 追 想(アナスティヤ).....	バントグリーン	3:03

※映画名(収録曲名)

※モノラル

淀川長治 映画音楽館 (2)

1. 風と共に去りぬ(タラのテーマ).....	オリジナル・サウンドトラック(マックス・スタイナー指揮オーケストラ)	2:31
2. 南太平洋(ワイルドハイ).....	オリジナル・サウンドトラック(ラファエル・メンケン指揮オーケストラ)	3:42
3. ウェスト・サイド物語(トナカイ).....	オリジナル・サウンドトラック(ジャズ・シンセサイザー)	2:39
4. 牙白くの日々(誰かのための).....	オリジナル・サウンドトラック(ヘンリー・マンシーン)	2:40
5. 運命の川(誰かのための).....	オリジナル・サウンドトラック(ヘンリー・マンシーン)	2:07
6. シェレード(シェレード).....	オリジナル・サウンドトラック(ヘンリー・マンシーン)	2:35
7. ビックの鶴(ビッグ・バンシーのテーマ).....	オリジナル・サウンドトラック(ヘンリー・マンシーン)	2:36
8. 野生のエルザ(ハンフリー).....	ジュネ・バグダッドとワグネル・ストリクス	3:37
9. プラザー・サン・システム・ムーン(プラザー・サン・システム・ムーン).....	ジャン・クレール・グランド・オーケストラ	3:09
10. カッコウの巣の上で(カッコウの巣の上で).....	ジャン・クレール・グランド・オーケストラ	3:13
11. 黄色いリボン(黄色いリボン).....	ジャン・クレール・グランド・オーケストラ	3:01
12. その男ノゾボ(その男ノゾボ).....	ジャン・クレール・グランド・オーケストラ	1:58
13. 戦場にかける橋(戦場にかける橋).....	ボストン・オーケストラ	3:07
14. 荒野の用心棒(さすらいの口笛).....	オリジナル・サウンドトラック(エドワード・モロコネ)	2:53
15. 帰らざる河(帰らざる河).....	オリジナル・サウンドトラック(マリリン・モロロ)	2:15
16. シェナンダト河(シェナンダト).....	ボストン・オーケストラ	3:56
17. 河は呼んでる(河は呼んでる).....	ジャン・クレール・グランド・オーケストラ	3:18
18. 死刑台のエレベーター(死刑台のエレベーター).....	アラン・フィールド	3:46
19. 死刑台のメロディ(勝利への讃歌).....	オリジナル・サウンドトラック	3:08
20. 教養の肖像(音楽家聖賢音楽長調).....	ジョン・バグダッド指揮オーケストラ	4:08

※映画名(収録曲名)

淀川長治 映画音楽館 (3)

1. 雨に唄えば(雨に唄えば).....	シネマ・オール・スターズ	2:42
2. 巴里のアメリカ人(スワンダプル).....	シネマ・オール・スターズ	2:10
3. 鞍馬車(鞍馬車).....	ルース・ウォルカム	3:28
4. 誇り高き男(誇り高き男).....	ネルソン・ワイル	2:45
5. 大いなる西部(大いなる西部).....	シネマ・オール・スターズ	3:11
6. ジャパン(ジャパン).....	オリジナル・サウンドトラック	2:11
7. 007/ロシアより愛を込めて(ロシアより愛を込めて).....	オリジナル・サウンドトラック(マート・モントロ)	2:32
8. 007/ゴールドフィンガー(ゴールドフィンガー).....	オリジナル・サウンドトラック(シェリー・バクスター)	2:47
9. ベン・ハー(ベン・ハー序曲).....	シネマ・オール・スターズ	3:24
10. 地獄の黙示録(ワルネン・ワルネン).....	ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	3:13
11. 2001年宇宙の旅(ワタナベはくはく録).....	フィリップ・アラブ管弦楽団	1:45
12. ドクトル・ジバゴ(ララのテーマ).....	オリジナル・オール・スターズ	3:31
13. 冒険者たち(愛のレチア).....	オリジナル・サウンドトラック(ランドロフ)	2:22
14. 巴里の愛(愛は流れる(バリの空の下)).....	シネマ・オール・スターズ	3:00
15. 恋人たち(音楽家聖賢音楽).....	ミュージック・イン・ザ・パルク	4:26
16. 幸 福(クラリネット五重奏曲5番イ長調).....	ザビネ・マイヤー(クラリネット)ウィーン交響楽団	4:03
17. ネバー・エンディング・ストーリー(ネバー・エンディング・ストーリー).....	オリジナル・サウンドトラック(リマール)	3:34
18. トップガン(愛は世のまじりに).....	シネマ・オール・スターズ	4:11
19. ラストエンペラー(ラストエンペラーのテーマ).....	シネマ・オール・スターズ	3:58

※映画名(収録曲名)

※モノラル

淀川長治 映画音楽館 (4)

1. 街の灯(街の灯).....	フィルム・シンフォニック・オーケストラ	2:34
2. モダン・タイムス(スマイル).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	2:10
3. 終着駅(ローマの秋).....	サタデー・ナイト・シンセサイザー	2:35
4. 旅 情(ベニス島の夏).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	3:19
5. 墓下りの情書(墓下のワルツ).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	2:22
6. チョップインの独裁者(ショパンの独裁者).....	フィルム・シンフォニック・オーケストラ	3:31
7. 太陽がいっぱい(太陽がいっぱい).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	1:37
8. プレペの恋(プレペの恋).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	2:34
9. シルブルールの雨傘(シルブルールの雨傘).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	2:24
10. いそぎ(いそぎ).....	フィルム・シンフォニック・オーケストラ	2:56
11. ベルメーデー(ベルメーデー).....	フィルム・シンフォニック・オーケストラ	3:17
12. フライ・ミー・ジーンズ(フライ・ミー・ジーンズ).....	アリア・ディ・コロネ	1:56
13. フロロニー(フロロニー).....	フィルム・シンフォニック・オーケストラ	3:28
14. 放浪騎士チャペリー(放浪騎士チャペリー).....	フィルム・シンフォニック・オーケストラ	2:35
15. 竜 火(ジュリエット第1幕).....	ピエール・ワレフ	2:58
16. 木根の樹(ワガト短調).....	ピエール・ワレフ	4:13
17. ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ(アマポーラ).....	シネマ・サウンド・オーケストラ	4:58
18. フェーム(フェーム).....	オリジナル・サウンドトラック(グリーン・キャ)	5:14
19. ゴースト/ニューヨークの虹(アンチエドメロディ).....	オリジナル・サウンドトラック(ライオン・キング)	3:38

※映画名(収録曲名)

淀川長治 映画音楽館 (5)

1. 禁じられた遊び (禁じられた遊び)	オリジナル・サウンドトラック (ナルシソ・イエベス (ギター))	2:24
2. 鉄道員 (鉄道員)	オリジナル・サウンドトラック	2:23
3. 汚れた恋 (セルシエルの歌)	オリジナル・サウンドトラック	3:07
4. 波止場 (波止場)	オリジナル・サウンドトラック (セルシエルの歌)	6:23
5. 第三の男 (第三の男)	オリジナル・サウンドトラック (アンソル・カス (ギター))	3:57
6. ボルサリー 2 (ボルサリー 2)	オリジナル・サウンドトラック (セルシエルの歌)	2:59
7. 山 猫 (山猫)	オリジナル・サウンドトラック	2:43
8. 世界残酷物語 (モア)	オリジナル・サウンドトラック	3:48
9. OK牧場の決斗 (OK牧場の決斗)	オリジナル・サウンドトラック	2:42
10. ヘッドライト (ヘッドライト)	オリジナル・サウンドトラック	2:52
11. 朝な夕なに (真夜中のフルス)	オリジナル・サウンドトラック *	3:06
12. 誘惑されて棄てられて (誘惑されて棄てられて)	オリジナル・サウンドトラック	2:19
13. 刑 事 (死ぬほど変して)	オリジナル・サウンドトラック (カル・ロルス・テ・クリ・オケストラ)	3:56
14. ローマの休日 (ローマの休日)	オリジナル・サウンドトラック	2:16
15. 地下室のメロデー (地下室のメロデー)	オリジナル・サウンドトラック	2:32
16. 河の女 (マボロパン)	オリジナル・サウンドトラック	3:07
17. みぶか(も美しく)悪女 (ピアノ協奏曲第21番(長調))	オリジナル・サウンドトラック	1:59
18. 白い恋人たち (白い恋人たち)	オリジナル・サウンドトラック	4:06
19. 愛と青春の旗だち (愛と青春の旗だち)	オリジナル・サウンドトラック	4:17

※映画名 (収録曲名)

*モノラル

淀川長治 映画音楽館 (6)

1. 慕 情 (慕情)	オリジナル・サウンドトラック	3:02
2. 王様と私 (シエル・ウ・ダンス)	オリジナル・サウンドトラック	1:57
3. 上流社会 (トルネ・ラブ)	オリジナル・サウンドトラック	3:12
4. 屋根の上のバイオリン弾き (サンライズ・サンセット)	オリジナル・サウンドトラック	3:51
5. ロミオとジュリエット (ロミオとジュリエット)	オリジナル・サウンドトラック	3:17
6. ナビオン (ナビオン・テーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:46
7. 素晴らしい風船旅行 (素晴らしい風船旅行)	オリジナル・サウンドトラック	3:19
8. カラー・バーブル (カラー・バーブル)	オリジナル・サウンドトラック	2:20
9. プラトーン (赤巻のためのアプジーロ)	オリジナル・サウンドトラック	4:17
10. 真夜中のカーボーイ (うさぎの男)	オリジナル・サウンドトラック	2:44
11. 俺たちに明日はない (ワグネー・マウズ・テラ・プレ・イグナム)	オリジナル・サウンドトラック	2:23
12. ロッキー (ロッキー・テーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:46
13. スター・ウォーズ (スター・ウォーズのテーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:23
14. 愛と遠慮の日々 (愛と遠慮の日々)	オリジナル・サウンドトラック	3:31
15. 日曜はダメよ (日曜はダメよ)	オリジナル・サウンドトラック	2:40
16. アメリカ物語 (サムエル・アポト・セア)	オリジナル・サウンドトラック	3:51
17. オペラ座の怪人 (オペラ・ア・アスク・オプ・ヌム)	オリジナル・サウンドトラック	3:45
18. イルカの日 (イルカの日・テーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:21
19. ゴッドファーザー (ゴッドファーザー/愛のテーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:49

※映画名 (収録曲名)

淀川長治 映画音楽館 (7)

1. アラビアのロレンス (アラビアのロレンス序曲)	オリジナル・サウンドトラック	4:22
2. 恐怖の狼煙 (恐怖の狼煙)	オリジナル・サウンドトラック	2:46
3. リオ・アラブ (宿敵の歌)	オリジナル・サウンドトラック	2:12
4. 荒野の七人 (荒野の七人)	オリジナル・サウンドトラック	2:15
5. 明日に向かって撃つ (雨にぬれても)	オリジナル・サウンドトラック	2:48
6. メリー・ポピンズ (サム・サム・チリ)	オリジナル・サウンドトラック	3:08
7. マイ・フェア・レディ (頑固明石)	オリジナル・サウンドトラック	2:51
8. サウンド・オブ・ミュージック (エデルワイス)	オリジナル・サウンドトラック	2:14
9. コーラ・ライン (ワウ)	オリジナル・サウンドトラック	3:58
10. エンドレス・ラブ (エンドレス・ラブ)	オリジナル・サウンドトラック	4:20
11. if もしも (if もしも)	オリジナル・サウンドトラック	3:01
12. 華麗なるヒーロー野郎 (華麗なるヒーロー野郎)	オリジナル・サウンドトラック	2:23
13. ダウングラウンド物語 (リザ・マローネ)	オリジナル・サウンドトラック (ポール・ウィルムス)	2:30
14. グレイズ・オブ・グレイズ (グレイズ)	オリジナル・サウンドトラック	2:36
15. ホセイド・ワイルド・チャーター (モーニング・アワター)	オリジナル・サウンドトラック	2:22
16. キング・オブ・キング (キング・オブ・キング)	オリジナル・サウンドトラック	2:34
17. 炎のランナー (炎のランナー)	オリジナル・サウンドトラック	2:29
18. レイダース/失われた聖櫃 (レイダース・マーチ)	オリジナル・サウンドトラック	5:38
19. ターミネーター 2 (T2)	オリジナル・サウンドトラック	1:54
20. ダンス・ウィズ・ウルブズ (ダンス・ウィズ・ウルブズ)	オリジナル・サウンドトラック	2:20

※映画名 (収録曲名)

淀川長治 映画音楽館 (8)

1. ひまわり (ひまわり)	オリジナル・サウンドトラック	1:59
2. 悲しきは星影と共に (悲しきは星影と共に)	オリジナル・サウンドトラック	2:39
3. 道 徳 (道徳)	オリジナル・サウンドトラック	2:38
4. ガラスの部屋 (ガラスの部屋)	オリジナル・サウンドトラック (ペー・ロ・ガリア・ディ)	3:34
5. ベニスへの愛 (ベニスへの愛)	オリジナル・サウンドトラック	3:54
6. アルフレッド・アルフレッド (アルフレッド・アルフレッド/愛のテーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:47
7. メリー・ゴールドラウンド (メリー・ゴールドラウンド)	オリジナル・サウンドトラック	3:06
8. イタリア式離婚狂想曲 (熱く愛して)	オリジナル・サウンドトラック (ピー・マッソー)	2:08
9. 愛のアンジュラス (愛のアンジュラス)	オリジナル・サウンドトラック	2:39
10. ティ・ア・ハンター (ティ・ア・ハンター)	オリジナル・サウンドトラック	3:57
11. 青春群像 (青春群像)	オリジナル・サウンドトラック	2:39
12. 魂 (ゼル・ソニー)	オリジナル・サウンドトラック	3:29
13. 甘い生活 (甘い生活)	オリジナル・サウンドトラック	4:01
14. フェリーニの8½ (フェリーニの8½)	オリジナル・サウンドトラック	4:27
15. 魂のジュリエット (魂のジュリエット)	オリジナル・サウンドトラック	4:06
16. 天使の時 (天使の時)	オリジナル・サウンドトラック	2:37
17. ベニスに死す (次巻第5巻要・短編)	オリジナル・サウンドトラック	7:36

※映画名 (収録曲名)

淀川長治 映画音楽館 (9)

1. オズの魔法使 (虹の彼方に)	オリジナル・サウンドトラック	3:06
2. 赤い嵐車 (ムーラン・ラージュの歌)	オリジナル・サウンドトラック	2:58
3. めぐり逢い (逢い逢いの歌)	オリジナル・サウンドトラック	3:54
4. 避暑地の出来事 (夏の日の恋)	オリジナル・サウンドトラック	2:24
5. アパートの鍵貸します (アパートの鍵貸します)	オリジナル・サウンドトラック	3:00
6. 夜霧のしのび逢い (夜霧のしのび逢い)	オリジナル・サウンドトラック	2:59
7. 男と女 (男と女)	オリジナル・サウンドトラック	3:55
8. 個人教授 (愛のレッスン)	オリジナル・サウンドトラック	3:49
9. エマニエル夫人 (エマニエル夫人)	オリジナル・サウンドトラック (ビートル・バウソル)	3:08
10. 時計じかけのオレンジ (時計じかけのオレンジ)	オリジナル・サウンドトラック	2:25
11. 栄光への脱出 (栄光への脱出)	オリジナル・サウンドトラック	3:32
12. グレン・ミラー物語 (ムンタライト・セレナーデ)	オリジナル・サウンドトラック	3:24
13. 悪いオトコ (悪いオトコ)	オリジナル・サウンドトラック	2:58
14. 映画に愛をこめて/アメリカの夜 (映画に愛をこめて/アメリカの夜)	オリジナル・サウンドトラック	2:21
15. 悪魔下ドラゴン (悪魔下ドラゴン)	オリジナル・サウンドトラック	2:21
16. スーパーマン (スーパーマン)	オリジナル・サウンドトラック	4:25
17. ミスター・アーサー (ニュー・ヨーク・シティ・セレナーデ)	オリジナル・サウンドトラック (クリスタル・オーケストラ)	3:52
18. スタンド・バイ・ミー (スタンド・バイ・ミー)	オリジナル・サウンドトラック (ペー・ロ・キング)	2:54

※映画名 (収録曲名)

*モノラル

淀川長治 映画音楽館 (10)

1. シェーン (誰かふる山の呼び聲)	オリジナル・サウンドトラック	3:01
2. 真昼の決闘 (ハイ・メーン)	オリジナル・サウンドトラック	2:53
3. 木砂塵 (ジュニオン・ギター)	オリジナル・サウンドトラック (キーン)	2:58
4. 黄金の夜 (黄金の夜)	オリジナル・サウンドトラック	4:54
5. 悪かたり殺し (悪かたり殺し)	オリジナル・サウンドトラック	3:19
6. 愛の泉 (愛の泉)	オリジナル・サウンドトラック	2:59
7. ヒックック (ムーソ・ロウとヒックックのテーマ)	オリジナル・サウンドトラック	3:46
8. シュー・アップ (ウィズ・コン・ジャット)	オリジナル・サウンドトラック	3:08
9. イージー・ライダー (ワイルドで行こう)	オリジナル・サウンドトラック (スティーブ・ヴァン・ドラン)	3:36
10. 暴力教師 (バック・アラウンド・ザ・ブロック)	オリジナル・サウンドトラック (ロバート・ロビンソン)	3:11
11. ジー・ジャック・スノー (ジー・ジャック・スノー)	オリジナル・サウンドトラック	3:56
12. E.T. (E.T. テーマ)	オリジナル・サウンドトラック	2:21
13. ジョー (メイン・タイトル)	オリジナル・サウンドトラック	2:18
14. ヒパリト・ヒルズ・コップ (アゲル・ヒルズ)	オリジナル・サウンドトラック (ロバート・ロビンソン)	3:30
15. コースト・ガードズ 2 (オン・アワー・ウェイ)	オリジナル・サウンドトラック (ロバート・ロビンソン)	4:54
16. ナックル・オン・ア・ニュー・チャー (ナックル・オン・ア・ニュー・チャー)	オリジナル・サウンドトラック (ワグネル・オケストラ)	3:17
17. ストリート・オブ・ファイヤー (今夜は青春)	オリジナル・サウンドトラック (ワグネル・オケストラ)	6:58

※映画名 (収録曲名)

*モノラル

■本作に登場する映画は？■

本作に登場する映画は資料②のとおりだ。

資料②

CINEMA LIST

※本編登場場 ※製作年は本編に準じる
■印は演奏/編曲でモリコーネが参加 ★印はモリコーネ不参加作品

『モリコーネ 映画が恋した音楽家』に登場する映画

<p>『オセロ』■ オーソン・ウェルズ監督 OTHELLO by Orson Welles(1951)</p> <p>『ファビオラ』■ ア・ブラゼッチ監督 FABIOLA by Alessandro Blasetti(1949)</p> <p>『最後の審判』■(未) ヴィットリオ・デ・シカ監督 THE LAST JUDGMENT by Vittorio De Sica(1961)</p> <p>『Il federale(ファシスト)』(未) ルチアーノ・サルテ監督 THE FASCIST by Luciano Salce(1961)</p> <p>『赤い砂の決闘』リチャード・アスコ/マリオ・カイアーノ監督 GRINGO by Richard Asaro and Mario Caiano(1963)</p> <p>『Le Pistole Non Discutono(拳銃は問答無用)』(未) マリオ・カイアーノ監督 BULLETS DON'T ARGUE by Mario Caiano(1964)</p> <p>『用心棒』★ 黒澤明監督 YUJIMBO by Akira Kurosawa(1961)</p> <p>『荒野の用心棒』セルジオ・レオーネ監督 A FISTFUL OF DOLLARS by Sergio Leone(1964)</p> <p>『リオ・ブラボー』★ ハワード・ホークス監督 RIO BRAVO by Howard Hawks(1959)</p> <p>『ポケットの中の握り拳』マルコ・ベロッキオ監督 FISTS IN THE POCKET by Marco Bellocchio(1965)</p> <p>『夕陽のガンマン』セルジオ・レオーネ監督 FOR A FEW DOLLARS MORE by Sergio Leone(1965)</p> <p>『フォーイ米』★ ジュゼッペ・デ・サンティス監督 BITTER RICE by Giuseppe De Santis - music by Goffredo Petrassi(1949)</p> <p>『革命前夜』ベルナルド・ベルトルッチ監督 BEFORE THE REVOLUTION by Bernardo Bertolucci(1964)</p> <p>『天地創造』ジョン・ヒューストン監督 THE BIBLE: IN THE BEGINNING... by John Huston(1966)</p> <p>『アルジェの戦い』ジッポ・ポンテコルヴォ監督 THE BATTLE OF ALGIERS by Gillo Pontecorvo(1966)</p> <p>『大きな鳥と小さな鳥』ピエル・パオロ・パゾリニ監督 UCCELLACCI E UCCELLINI by Pier Paolo Pasolini(1966)</p> <p>『続・夕陽のガンマン』セルジオ・レオーネ監督 THE GOOD, THE BAD AND THE UGLY by Sergio Leone(1966)</p> <p>『復讐のガンマン』セルジオ・ソリマ監督 THE BIG GUNDOWN by Sergio Sollima(1967)</p> <p>『殺しが静かにやって来る』セルジオ・コルブッチ監督 THE GREAT SILENCE by Sergio Corbucci(1968)</p> <p>『Grazie, zia(ありがとう、叔母さん)』(未) サルヴァトーレ・サンペリ監督 COME PLAY WITH ME by Salvatore Samperi(1968)</p> <p>『GALILEO(ガリレオ)』(未) リリアーナ・カヴァーニ監督 GALILEO by Liliana Cavani(1968)</p> <p>『Metti Una Sera A Cena(ある夕食のテーブル)』(未) ジェット・バートロニ・グリアッパ監督 LOVE CIRCLE by Giuseppe Patroni Griffi(1969)</p> <p>『怪奇な恋の物語』エリオ・ペトリ監督 A QUIET PLACE IN THE COUNTRY by Elio Petri(1968)</p> <p>『ウェスタン』セルジオ・レオーネ監督 ONCE UPON A TIME IN THE WEST by Sergio Leone(1968)</p> <p>『黄色い戦場』アルベルト・ラトゥアーダ監督 FRAULEIN DOKTOR by Alberto Lattuada(1969)</p> <p>『シシリアン』アンリ・ヴェルヌイ監督 THE SICILIAN CLAN by Henri Verneuil(1969)</p>	<p>『I cannibali(カニバル)』(未) リリアーナ・カヴァーニ監督 THE CANNIBALS by Liliana Cavani(1970)</p> <p>『メダの戦い』ジッポ・ポンテコルヴォ監督 QUEIMADA by Gillo Pontecorvo(1969)</p> <p>『La califfa(ラ・カリファ)』(未) アルベルト・ベヴィラックヴァ監督 LADY CALIPH by Alberto Bevilacqua(1970)</p> <p>『殺人捜査』エリオ・ペトリ監督 INVESTIGATION OF A CITIZEN ABOVE SUSPICION by Elio Petri(1970)</p> <p>『冷酷なる瞳』エンゾ・G・カステラーリ監督 COLD EYES OF FEAR by Enzo G. Castellari(1971)</p> <p>『飲びの鳥牙』ダリオ・アルジェント監督 THE BIRD WITH THE CRYSTAL PLUMAGE by Dario Argento(1970)</p> <p>『わたしは目撃者』ダリオ・アルジェント監督 THE CAT O' NINE TAILS by Dario Argento(1971)</p> <p>『死刑台のメロディ』ジュリアーノ・モンタルド監督 SACCO & VANZETTI by Giuliano Montaldo(1971)</p> <p>『L'Agnes va a morire(アニーゼは死に向かう)』(未) ジュリアーノ・モンタルド監督 AND AGNES CHOSE TO DIE by Giuliano Montaldo(1976)</p> <p>『GIORDANO BRUNO(ジョルダーノ・ブルーノ)』(未) ジュリアーノ・モンタルド監督 GIORDANO BRUNO by Giuliano Montaldo(1973)</p> <p>『アラビアンナイト』ピエル・パオロ・パゾリニ監督 ARABIAN NIGHTS by Pier Paolo Pasolini(1974)</p> <p>『アロンサンファン 気高い兄弟』タヴィアーニ兄弟監督 ALLONSANFAN by Paolo and Vittorio Taviani(1974)</p> <p>『1900年』ベルナルド・ベルトルッチ監督 1900 by Bernardo Bertolucci(1976)</p> <p>『タタール人の砂漠』ヴァレリオ・ズルリニ監督 THE DESERT OF TARTARS by Valerio Zurlini(1976)</p> <p>『天國の日々』テレンス・マリック監督 DAYS OF HEAVEN by Terrence Malick(1978)</p> <p>『BIANCO ROSSO E VERDONE(白、赤とヴェルドネ)』(未) カルロ・ヴェルドネ監督 BIANCO ROSSO E VERDONE by Carlo Verdone(1981)</p> <p>『ファンイズ・ビューティフル』(未) カルロ・ヴェルドネ監督 FUN IS BEAUTIFUL by Carlo Verdone(1980)</p> <p>『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ』セルジオ・レオーネ監督 ONCE UPON A TIME IN AMERICA by Sergio Leone(1984)</p> <p>『ミッション』ローランド・ジョフィ監督 THE MISSION by Roland Joffe(1986)</p> <p>『ラウンド・ミッドナイト』★ ベルトラン・タヴェリエ監督 ROUND MIDNIGHT by Bertrand Tavernier(1986)</p> <p>『ニュー・シネマ・パラダイス』ジュゼッペ・トルナトーレ監督 CINEMA PARADISO by Giuseppe Tornatore(1988)</p> <p>『アンタッチャブル』ブライアン・デ・パルマ監督 THE UNTOUCHABLES by Brian De Palma(1987)</p> <p>『U・ターン』オリヴァー・ストーン監督 U - TURN by Oliver Stone(1997)</p> <p>『供通によるとペレイラは……』(未) ロベルト・ファエンツァ監督 SOSTIENE PEREIRA by Roberto Faenza(1995)</p> <p>『海上のピアニスト』ジュゼッペ・トルナトーレ監督 THE LEGEND OF 1900 by Giuseppe Tornatore(1998)</p> <p>『ハイトフル・エイト』クエンティン・タランティーノ監督 THE HATEFUL EIGHT by Quentin Tarantino(2015)</p>
--	--

Photo:LUCA MAZZOCCHONE

【『モリコーネ 映画が恋した音楽家』パンフレットより】

■□■本作に登場する映画音楽は？■□■

本作に登場する映画音楽は資料③のとおりだ。

資料③

MUSIC LIST

※本編登場順 ※作曲年は本編に準じる

『モリコーネ 映画が恋した音楽家』に登場する音楽

モリコーネが手掛けたポップス、主題歌、合唱曲

『恋のからまわり』歌:ジャンニ・メッチャ
IL BARATTOLO Gianni Meccia(1960)

『水中メガネと鉄砲と水かき』歌:エドアルド・ヴィアネッロ
PINNE, FUCILE ED OCCHIALI Edoardo Vianello(1962)

『恋は塩味』歌:ジーノ・パオリ
SAPORE DI SALE Gino Paoli(1963)

『デイト・タイム』歌:ジャンニ・モランディ
ANDAVO A 100 ALL'ORA Gianni Morandi(1962)

『愛をあなたに』歌:ジャンニ・モランディ
NON SON DEGNO DI TE Gianni Morandi(1966)

『君の瞳の中に書いてある』歌:ディーノ
TE LO LEGGO NEGLI OCCHI Dino

『限りなき世界』歌:ジミー・フォンタナ
IL MONDO Jimmy Fontana(1965)

『愛の言葉』歌:エドアルド・ヴィアネッロ
PARLAMI DI TE Edoardo Vianello(1966)

『太陽の中の恋』歌:ポール・アンカ
OGNI VOLTA Paul Anka(1964)

『恋のシーズンオフ』歌:エドアルド・ヴィアネッロ
ABBRONZATISSIMA Edoardo Vianello(1963)

『夜の声』歌:ミランダ・マルティノー
VOCE 'E NOTTE Miranda Martino(1963)

『チリビリビン』歌:ミランダ・マルティノー
CIRIBIRIBIN Miranda Martino(1964)

『貴方にひざまづいて』歌:ジャンニ・モランディ
IN GINOCCHIO DA TE Gianni Morandi(1964)

『夕陽の用心棒』歌:マウリツィオ・グラフ
ANGEL FACE - UNA PISTOLA PER RINGO Maurizio Graf(1965)

『東の間に燃えつきて』歌:ミーナ
SE TELEFONANDO Mina(1966)

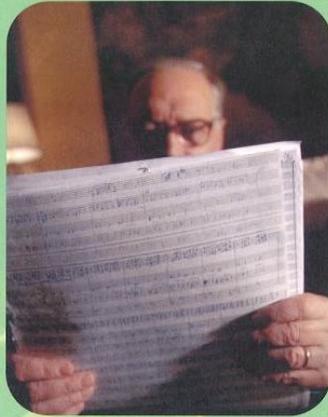
『死刑台のメロディ』歌:ジョーン・バエズ
LA BALLATA DI SACCO E VANZETTI Joan Baez(1971)

『勝利への讃歌』歌:ジョーン・バエズ
HERE'S TO YOU Joan Baez(1971)

語り手、テープ、合唱、管弦楽のための『沈黙からの声』
VOCI DAL SILENZIO per voce recitante, voci registrate, coro e orchestra(2002)

合唱、金管、打楽器、ピアノ2台、弦楽のための神秘的カンタータ『満たされた魂の隙間』
VUOTO D'ANIMA PIENA Cantata mistica in tre navate per coro, ottoni, percussioni, due pianoforti e archi(2012)

二重合唱と管弦楽のための『教皇フランシスコのためのミサ曲』
MISSA PAPAЕ FRANCISCI per doppio coro e orchestra(2015)



【『モリコーネ 映画が恋した音楽家』パンフレットより】

■□■交友の広さにビックリ！■□■

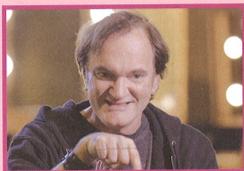
本作のパンフレットには、「絆、屈辱、映画音楽のリベンジ……『モリコーネ 映画が恋した音楽家』について」と題する、前島秀国氏（サウンド&ヴィジュアルライター／本編字幕監修）の REVIEW がある。そこでは冒頭、「音楽が“運命”になると思っていなかった。私は医者になりたかったが“トランペットを学べ”と父が言い、私を音楽院に入学させた。トランペット奏者にすると決めたのは父だ」と書かれているが、これは本作の字幕に登場するもので、モリコーネ自身の本心を語ったものらしい。それによると、音楽はモリコーネが本来望んだ仕事でなかったことは確かだし、それ以上に、映画音楽は彼が本来望む仕事でなかったというのが面白い。まさに、「運命の皮肉」とはこのことを言うのだろう。前島氏のレビューは、そんな視点で映画音楽に偉大な功績を残したモリコーネのことを、そして本作のことをレビューしているので、これは必読！さらにパンフレットには、「乾いた”前衛”と“泣ける”メロディが共存する世界」と題する富貴晴美氏（作曲家・ピアニスト）の COLUMN と「語り切れないモリコーネの足跡」と題する江守功也氏（映画音楽ライター）の COLUMN があり、これも必読だ！

私は25歳で弁護士登録してからもうすぐ50年になるが、弁護士一筋ではなく、2001年からは映画評論家活動を始め、今や“二足のわらじ”が定着している。また、弁護士としての法廷活動は今はほとんどなくなったが、執筆活動はますます増えている。さらに、2001年からははじめた中国旅行以降の中国関連の仕事、遊び、交流は、どんどん広がっている。このように、私の活動領域もあっちこっちに広がっているから、それにつれて交友関係も広がっている。しかし、これだけ多くの回り道(?)をしながらか、映画音楽で偉大な功績を残したモリコーネの人脈は驚くほど広い。そこで、本作のパンフレットに載っている CHARACTERS を、**資料④-1~3**として転載しておきたい。また、本作に登場する CHARACTER LIST は、**資料⑤**のとおりだ。

2023（令和5）年2月1日記

CHARACTERS

映画監督



Quentin Tarantino

クエンティン・タランティーノ

アメリカ出身の監督。『イングロリアス・バスターズ』(09)と『ونس・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド』(19)で、アカデミー賞®監督賞にノミネートされる。モリコーネの大ファンを公言し、『ジャング 驚かされる者』(12)の挿入歌『アンコラ・キ』を作曲してもらう。モリコーネに音楽の使い方を批判され、監督作品を『好きな映画ではない』とコメントされたこともあった。しかしその後、『ヘイトフル・エイト』(15)で初めて全編オリジナルスコアを書き下ろしてもらい、モリコーネに初のアカデミー賞®作曲賞をもたらす。



Sergio Leone

セルジオ・レオーネ

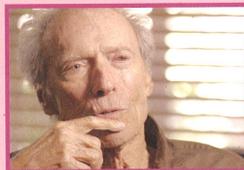
イタリア出身の監督。モリコーネの小学校時代の同級生で、大人になって彼と再会しコンビを組む。『荒野の用心棒』(64)以降の全監督作品の音楽をモリコーネに依頼する。マカロニ・ウエスタン作品で名を上げ、その後は二人の集大成にして自身の最高傑作となるギャング映画『ونس・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ』(84)で、ゴールデン・グローブ賞、英国アカデミー賞監督賞にノミネートされる。1989年に心臓発作で亡くなる。



Bernardo Bertolucci

ベルナルド・ベルトルッチ

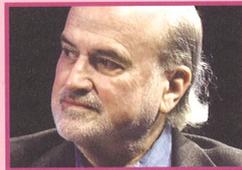
イタリア出身の監督。『ラストエンペラー』(87)がアカデミー賞®9部門、ゴールデン・グローブ賞4部門を受賞するという偉業を成し遂げ、世界的巨匠としてその名を轟かす。モリコーネとは『革命前夜』(64)などで組み、20世紀前半のイタリア現代史を描く超大作『1900年』(76)で、その澄み切った映像と哀切な音楽によるコラボレーションは頂点を極める。2018年、がんのため死去。



Clint Eastwood

クリント・イーストウッド

アメリカ出身の俳優・監督。1960年代にブームを巻き起こしたマカロニ・ウエスタン作品に主演し、世界的にその名を知られる。代表作『荒野の用心棒』(64)、『夕陽のガンマン』(65)、『続・夕陽のガンマン/地獄の決斗』(66)の音楽を、モリコーネが手掛けている。その後、『ダーティハリー』シリーズで大スターとなる。監督業にも進出し、『許されざる者』(92)、『ミリオンダラー・ベイビー』(04)で、アカデミー賞®監督賞を受賞する。



Terrence Malick

テルレンス・マリック

アメリカ出身の監督。寡作だが、唯一無二の映像と世界観によって名立たる映画人と映画ファンからリスペクトされる。映画史に永遠にその名を刻む名匠。『天国の日々』(78)でモリコーネと組み、カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞し、タイム誌による『70年代のアメリカ映画ベスト10』に選ばれる。その後、『シン・レッド・ライン』(98)でアカデミー賞®監督賞にノミネートされ、『ツリオーポ・ライフ』(11)でカンヌ国際映画祭パルム・ドールに輝き、再びアカデミー賞®にノミネートされる。



Pier Paolo Pasolini

ピエル・パオロ・パゾリーニ

イタリア出身の監督。1960年代から70年代にかけて、衝撃的な問題作を世に放ち、モリコーネとは『大きな鳥と小さな鳥』(66)、『テオレマ』(68)、『デカメロン』(71)、『カンタベリー物語』(72)、『アラビアンナイト』(74)などでコンビを組み、現代音楽の分野でもコラボ作品を残した。最後のコンビ作となった『ソドムの市』(76)の撮影後、パゾリーニは何者かに惨殺される。当時は『ソドムの市』に出演した少年が犯人とされたが、ファシストの陰謀説などが飛び交い、今も真相は謎のままだ。

映画音楽家



Dario Argento

ダリオ・アルジェント

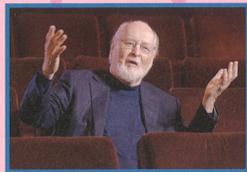
イタリヤ出身の監督。『サスベリア』(77)が驚異的なヒットを記録し、現在もホラー映画の金字塔として語り継がれている。2018年には、ルカ・グアダニーノ監督によってリメイクされ話題となった。モリコーネは彼の初期の三部作として知られる『歌びの毒牙』(70)、『わたしは目撃者』(71)、『4匹の魂』(71)をはじめ5作品の音楽を担当している。



Hans Zimmer

ハンス・ジマー

モリコーネの次世代となる、1957年生まれのハリウッドを代表する作曲家の一人。『ライオンキング』(94)と『DUNE/デューン 砂の惑星』(21)でアカデミー賞作曲賞を受賞。近作は、『007/ノータイム・トゥ・ダイ』(21)、『トップガン マーヴェリック』(22)など。モリコーネが亡くなった時、『私がモリコーネ作品で最初に観た映画は『ウエスタン』(68)だった。音楽を聴いて『これが自分のやりたいことだ』と確信した』と語っている。

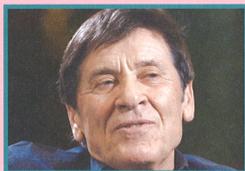


John Williams

ジョン・ウィリアムズ

1932年生まれて、モリコーネと同世代の映画音楽界の巨匠。『JAWS/ジョーズ』(75)、『スター・ウォーズ』(77)、『E.T.』(82)、『シンドラーのリスト』(93)でアカデミー賞作曲賞を受賞する。近作は、『スター・ウォーズ/スカイウォーカーの夜明け』(19)、スティーヴン・スピルバーグ監督『フェイブルマンズ』(22)など。クラシック指揮者として、『ニュー・シネマ・パラダイス〜愛のテーマ』を演奏・録音している。

伊RCAアレンジャー時代の歌手



Gianni Morandi

ジャンニ・モランディ

1944年生まれ。『太陽のバカンス』(62)の同名挿入歌や『太陽の下の18才』(62)の挿入歌(ウンライト・ツイスト)、主演も兼ねた『貴方にひざまづいて』(64)の同名主題歌など、モリコーネが作曲や編曲を手掛けたポップスを数多く歌ってヒットさせる。



Miranda Martino

ミランダ・マルティーノ

1933年生まれ。『くち紅』(60)の同名主題歌(編曲はモリコーネ)などを歌った後、モリコーネがナポリ民謡をアレンジしたカンツォーネ・アルバム『うるわしのナポリ』(63)で人気を確立。3年後には再びモリコーネをアレンジに迎えた続編アルバム『Napoli Vol.2』(66)をリリースした。

サントラでの
共演ミュージシャン



Alessandro Alessandroni

アレッサンドロ・アレッサンドロニ

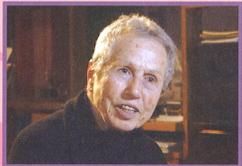
1925年生まれ。モリコーネとは少年時代からの友人。コーラス・グループ「イ・カントーリ・モデルニ」を結成し、『荒野の用心棒』(64)などモリコーネの多くのサントラで演奏を担当。同作のテーマ曲《さすらいの口笛》では口笛とギターも演奏した。2017年逝去。



Joan Baez

ジョーン・バエズ

1941年生まれ。公民権運動やベトナム反戦運動との関わりでも知られるフォークの女王。モリコーネの代表作のひとつ『死刑台のメロディ』(71)では、挿入歌《サッコとヴァンゼッティのパラード》と作詞も兼ねた主題歌《勝利への讃歌》を歌う。



Edda Dell'orso

エッタ・デッロルソ

1935年生まれ。『続・夕陽のガンマン/地獄の決斗』(66)、『ウエスタン』(68)、『夕陽のギャングたち』(71)、『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ』(84)など、数多くのサントラでヴォカリーズ(スキヤット)の美声を披露し、モリコーネの名曲に欠くことのないソプラノ歌手として知られる。



Gilda Butta

ジルダ・ブッタ

1959年生まれ。『海の上のピアニスト』(98)のピアノ/吹替演奏を担当したクラシック・ピアニスト。モリコーネとはコンサートでも頻繁に共演し、モリコーネ来日公演をはじめ多くのステージでピアノ/パートを担当した。

モリコーネを敬愛する
アーティスト



Bruce Springsteen

ブルース・スプリングスティーン

1949年生まれ。『ボーン・イン・ザ・U.S.A.』などのヒット曲が有名なロック界の大家。『フィラデルフィア』(93)の主題歌《ストリート・オブ・フィラデルフィア》でアカデミー賞®歌曲賞受賞。2007年にリリースされたトリビュート盤『ウィ・オール・ラヴ・エンニオ・モリコーネ』に収録の(ウエスタン)でグラミー賞ロック・インストゥルメンタル・パフォーマンス部門受賞。



Quincy Jones

クインシー・ジョーンズ

1933年生まれ。マイケル・ジャクソンのプロデューサーや『夜の犬捜査』(67)などの映画音楽でも著名な大物プロデューサー。トリビュート盤『ウィ・オール・ラヴ・エンニオ・モリコーネ』に収録の《続・夕陽のガンマン》では、かつてモリコーネを抑えてアカデミー賞®作曲賞を受賞したハービー・ハンコックを敢えて演奏に起用し、モリコーネがアカデミー賞®作曲賞を受賞した際にはプレゼンターを務めるなど、モリコーネの正当な評価の確立に貢献した。

CHARACTER LIST

※本編登場順

ジノー・パオリ ソングライター
Gino Paoli Songwriter

クインシー・ジョーンズ 作曲家/プロデューサー
Quincy Jones Composer and producer

ミランダ・マルティネー 歌手
Miranda Martino Singer

アレクサンドロ・デ・ロザ 作曲家
Alessandro De Rosa Composer

ジャンニ・モランディ ソングライター
Gianni Morandi Songwriter

ニコラ・ピョヴァーニ 作曲家
Nicola Piovani Composer

パット・メセニー ギタリスト/作曲家
Pat Metheny Guitarist and composer

ジュリアーノ・モンタルド 映画監督
Giuliano Montaldo Director

ブルース・スプリングスティーン ソングライター
Bruce Springsteen Songwriter

ベルナルド・ベルトルッチ 映画監督
Bernardo Bertolucci Director

シルヴァーノ・アゴ스티ーニ 映画監督
Silvano Agosti Director

ローランド・ジョフィ 映画監督
Roland Joffé Director

ダリオ・アルジェント 映画監督
Dario Argento Director

クリント・イーストウッド 映画監督/俳優
Clint Eastwood Director and actor

リナ・ウェルトミュラー 映画監督
Lina Wertmuller Director

カテリーナ・カゼッリ 音楽プロデューサー
Caterina Caselli Music producer

ワルテル・ブランキ 作曲家
Walter Branchi Composer

A・アレクサンドロニ 音楽家
Alessandro Alessandroni Musician

B・B・ダマリーロ ギタリスト
Bruno Battisti D'amarlo Guitarist

エドアルド・ヴィアネッロ 歌手
Edoardo Vianello Singer

セルジオ・ミチューリ 音楽学者
Sergio Miceli Musicologist

ゴッフレド・ペトラッシ 作曲家
Goffredo Petrassi Composer

ダニエレ・フルラーチ 作曲家
Daniele Furlati Composer

ボリス・ポレーナ 作曲家
Boris Porena Composer

エンリコ・ピエランツィ 作曲家/ピアニスト
Enrico Pieranunzi Composer and pianist

E・ゼッペグノ RCAアートディレクター
Ettore Zepppegno Art Director RCA

エヴァ・フィッシャー 美術家
Eva Fisher Artist

ジュゼッペ・トルナトーレ 映画監督
Giuseppe Tornatore Director

フランコ・ミリアッチ 音楽プロデューサー
Franco Migliacci Music producer

エッダ・デッロルソ 歌手
Eda Dell'orso Singer

ブルーノ・ザンブリニ 作曲家
Bruno Zambrini Composer

トニーノ・ポーチェ 作曲家
Tonino Pöce Composer

カルロ・ヴェルドーネ 映画監督/俳優
Carlo Verdone Director and actor

セルジオ・レオーネ 映画監督
Sergio Leone Director

ロベルト・ファエンツァ 映画監督
Roberto Faenza Director

セルジオ・バッセッティ 随筆家/映画学校教師
Sergio Bassetti Essayist and CSC teacher

マルコ・ベロッキオ 映画監督
Marco Bellocchio Director

ラファエラ・レオーネ プロデューサー
Raffaella Leone Producer

ジッロ・ポンテコルヴォ 映画監督
Gillo Pontecorvo Director

エンツォ・オコーネ 映画編集
Enzo Ocone Editor/Coordinator

バリー・レヴィンソン 映画監督
Barry Levinson Director

クエンティン・タランティーノ 映画監督
Quentin Tarantino Director

セルジオ・ソリマ 映画監督
Sergio Sollima Director

マリーナ・チコニーア プロデューサー
Marina Cicogna Producer

アントネッロ・ネリ 作曲家
Antonello Neri Composer

フランコ・ピエルサンティ 作曲家
Franco Piersanti Composer

エリオ・ペトリ 映画監督
Elio Petri Director

ポール・シムノン 音楽家(元 ザ・クラッシュ)
Paul Simonon Musician (ex The Clash)

アルベルト・ラトゥアーダ 映画監督
Alberto Lattuada Director

アンリ・ヴェルヌイユ 映画監督
Henri Verneuil Director

リリアーナ・カヴァーニ 映画監督
Liliana Cavani Director

ドルス・ポンテス 歌手
Dulce Pontes Singer

ハンス・ジマー 作曲家
Hans Zimmer Composer

アルベルト・ベヴィラクヴァ 映画監督
Alberto Bevilacqua Director

エンツォ・G・カステラーリ 映画監督
Enzo G. Castellari Director

フーリオ・コロネオ 作家/ジャーナリスト
Furio Colombo Writer and Journalist

ジョーン・バエズ ソングライター
Joan Baez Songwriter

ジョン・ウィリアムズ 作曲家
John Williams Composer

アントニオ・パッパーノ 指揮者
Antonio Pappano Conductor

ウォン・カーウアイ 映画監督
Wong Kar-Wai Director

ピエル・パオロ・パソリニ 映画監督
Pier Paolo Pasolini Director

タヴィアーニ兄弟 映画監督
Paolo And Vittorio Taviani Directors

M・T・ジョルダナ 映画監督
Marco Tullio Giordana Director

テレンス・マリック 映画監督
Terrence Malick Director

マイケル・ダナ 作曲家
Michael Dana Composer

アンドレア・レオーネ プロデューサー
Andrea Leone Producer

クラウディオ・マンチーニ プロデューサー
Claudio Mancini Producer

デヴィッド・バットナム プロデューサー
David Puttnam Producer

シルダ・ブッタ ピアニスト
Gilda Butta Pianist

オリヴァー・ストーン 映画監督
Oliver Stone Director

F・ヴェントゥーリ サウンド・エンジニア
Fabio Venturi Sound engineer

マルコ・ビスカリニ 作曲家
Marco Biscarini Composer

フィル・ジョアノー 映画監督
Phil Joanou Director

マイク・パットン 歌手
Mike Patton Singer

ズッケロ ソングライター
Zucchero Songwriter

ジェイムズ・ヘットフィールド ソングライター(メタリカ)
James Hetfield Songwriter (Metallica)

